

すべてつぶやかず疑わず ピリピ 2:12-30

「すべてのことを、つぶやかず、疑わずに行ないなさい。」14

しっかり生きてきた人は、しっかり亡くなり、べたべた生きてきた人は、べたべた亡くなり、感謝をしながら生きてきた人は、感謝をしながら亡くなり、不平不満を言いながら生きてきた人は、不平不満を言いながら亡くなっていかれる。最後の一月は、人生の凝縮です。淀川キリスト教病院の柏木師がホスピスで学ばれた事です。あなたは、どの様に生き最後を迎えたいでしょうか。パウロは、死が近づいている中喜びに満たされて、一緒に喜んで下さいと語りました。「すべてのことをつぶやかず疑わずに」喜んで生きる人生を神から学びましょう。

I. 神は事を行なわせてくださる 「神は、みこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行なわせてくださるので す。」

神は、喜んで生きるために、事を行わせて下さいます。事を行なわせるために◆志を立てさせてくださいます「神は、みこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、」志は、神が与えられる心であり、私たちのための計画です。救われた事も、バプテスマも、奉仕も、ビジョンも、神が私達ひとり一人に志を与えてくださったものです。私達の成すべきことは、受け取り、従順に従うことだけです。ピリピ教会の良いところは、従順です。彼らは、いつも従順でした。パウロは、彼らに私がいてもいなくても従順であって欲しいと願ったのです。「そういうわけですから、愛する人たち、いつも従順であったように、私がいるときだけでなく、私のいない今はなおさら、恐れおののいて自分の救いを達成してください。」12 また、パウロはピリピの教会に私と同じように喜んでくださいと伝えました。◆喜んでください「私は喜びます。あなたがたすべてとともに喜びます。あなたがたも同じように喜んでください。私といっしょに喜んでください。」17.18 何故、牢獄にいなながらその様に言う事ができたのでしょうか。それは、神が事を行なわせ、責任をもって実現して下さるからです。彼は、たとえ自分が注ぎの供え物となっても喜んでくださいと伝えました。注ぎの供え物とは、殉教です。もし、自分がこのまま死ぬようなことがあったとしても喜んでくださいと伝えたのです。パウロはひとりではありませんでした。常に福音のために働く仲間がいました。テモテは、パウロと同じ心を持ち、最も信頼できる協力者のひとりであり、無二の人でした。「テモテのように私と同じ心になって、真実にあなたがたのことを心配している者は、ほかにだれもないからです。」また、エパフロデも同様に、兄弟であり、同労者であり、戦友であり、窮乏の時に仕えてくれ、キリストのために命の危険を冒して共に仕えてくれた人でした。「なぜなら、彼は、キリストの仕事のために、いのちの危険を冒して死ぬばかりになったからです。彼は私に対して、あなたがたが私に仕えることのできなかつた分を果たそうとしたのです。」彼は、彼らの存在を喜び、一緒に喜んで欲しいと伝えたのです。私達は、つぶやかず疑わずに事を行ないます。神が事を行なわせて下さるからです。神からの志を受け取り、主にある兄弟と共に喜び仕え合いましょう。

II. 世の光として輝く 「いのちのこばをしっかりと握って、彼らの間で世の光として輝くためです。」16

つぶやかず、疑わずに喜んで生きるために、世の光として輝くことです。私たちは、世の光であるキリストによって救われ、光の子となりました。神は、光の子どもらしく歩むように命じておられます。「あなたがたは、以前は暗やみでしたが、今は、主にあつて、光となりました。光の子どもらしく歩みなさい。」エペソ 5:8 では、世の光として輝くためにどうすれば良いでしょう。◆いのちのこばをしっかりと握ることで「いのちのこばをしっかりと握って、」16 今は曲がった邪悪な時代です。「曲がった邪悪な世代の中にあつて傷のない神の子どもとなり、」それは、神も創造も否定し、科学を万能と称賛し、デマに翻弄される時代を示しています国民が選んだ代表の決定に多くの党が非難を浴びせました。学校関係者は、不平を鳴らし、決定を受けてもそれぞれ勝手な行動を始めました。どこにも従順な人が見当たりませんでした。独自に判断し、行動する先にあるのは、混乱と無秩序です。つぶやきとは、小声で文句を言うことです。つぶやきはみこばを握った手を緩ませ、心の中で共鳴し、疑いに発展し、輝きを失わせます。世の光として輝くために、いのちのこばをしっかりと握り、離さないことです。これこそ、輝き、喜ぶ秘訣です。「兄弟たち、互いにつぶやき合つてはいけません。さばかれたいからです。見なさい。さばきの主が、戸口のところに立っておられます。」ヤコブ 5:9 また、世の光として輝くためにキリストの日に誇る姿を思い描くことです。◆キリストの日に誇れる「そうすれば、私は、自分の努力したことがむだではなく、苦勞したこともむだでなかつたことを、キリストの日に誇ることができません。」私達が、従順に従い神が与えられた志を行なうことは、決して無駄になることはありません。神は、万事をすべて益にして下さいます。今の苦しみも悲しみも辛さも、病氣も失敗も全部益になるのです。「神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従つて召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益として下さることを、私たちは知っています。」ローマ 8:28 だから、私達はすべてのことをつぶやかず、疑わずに事を行ない、喜んで、世の光として輝きましょう。God bless you.